

＜令和の時代に求められる小学校教育の姿＞

急激に変化する社会の中であっても、子どもたち一人一人が豊かな人生を切り拓いていくための土台づくり

- ・ 自分自身や友達とよく考え判断していく力
- ・ 自分の可能性を認識し、前向きに実践していく力
- ・ 多様性を認めながら、他と協働的にかかわる力



“させられないでする子ども” から “よく考えてする子ども” へ

学校教育目標

自分の良さや可能性を実感できる子どもの育成

— よく考えてする子ども —

中央小学校の姿

- 子どもの未来に責任がもてる学校
- 地域に愛されるあたたかい学校

教職員の姿

子どもの多様性を認め、一人一人の良さや可能性を引き出すために、みんなで考え、学び続ける教職員

Vitality、Speciality、Originality、Personality
(共に成長) (専門性の磨き合い) (持ち味の発揮) (豊かな人間性)

めざす子ども像

子ども像	学校	よく考えてする子ども		
	学年	(知) 主体的に学ぶ子ども	(徳) 互いの多様性を認め、協力する子ども	(体) 健康・安全に気をつけ、努力する子ども
		学年ごとに設定		
子どもが育つ場		授業等 「個別最適な学び」 「協働的な学び」	学校生活全般	
合言葉 “あ・そ・べ”		べんきょう	あいさつ・あそび	そうじ・あそび

小学校教育で実感した「自分の良さや可能性」は、子どもたち一人一人の自己肯定感や次への自信・意欲となります。そして小学生の時に培ったこの力は、将来大人になっても、急激に変化していく令和の時代において、豊かな人生を主体的に切り拓いていく生きる力になっていくものと考えています。

今年度の経営の重点

※職員向け（参考）

- 1 学校でのコロナ感染防止と適切な対応
- 2 生徒指導の充実（子ども理解、心の教育）といじめ防止（未然防止、早期発見、早期対応）
- 3 主体的な学びに向けた授業改善（「個別最適な学び」と「協働的な学び」を）
- 4 コロナ禍での教育活動の工夫（学びを止めない）
- 5 一人一人の子どもを全職員で（きめ細かな個別支援、心のケア、不登校の子ども支援等）
- 6 みんなで人材育成（新規採用者、若手・中堅層）
- 7 ロクハン・チャレンジで、心も体もリフレッシュ（時間外勤務の縮減、土日も）
- 8 危機管理に強い学校体制づくり
- 9 中央小から不祥事を絶対に出さない。（子ども・保護者・地域そして同僚を裏切らない。）